

## 畑地帯における大豆・小麦立毛間播種栽培の雑草管理技術

畑地帯における大豆・小麦立毛間播種2年3作体系では、雑草管理する上で3作目大豆播種直前の中耕作業の効果が高い。

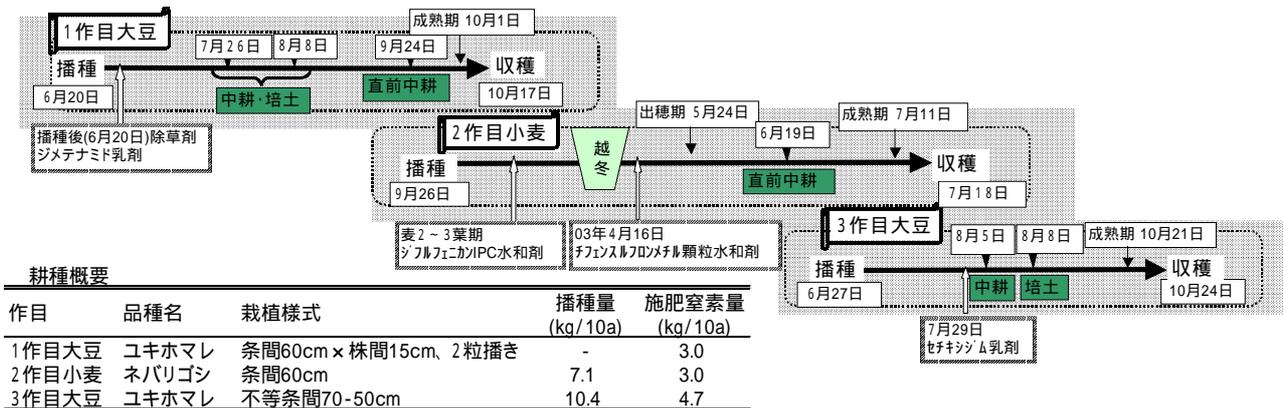


図1 大豆・小麦立毛間播種2年3作体系の実施モデル(2002～2003年)

この体系により管理すると、雑草発生は以下の傾向となる。

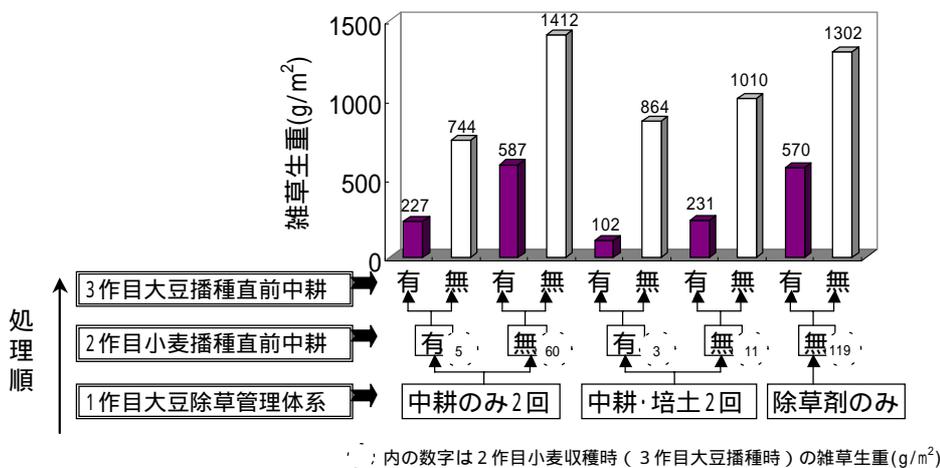


図2 3作目大豆播種直前中耕の有無による大豆収穫時の雑草発生量の違い

直前中耕の効果が高いことから除草体系を以下の通りとする

	播種期		生育期	
	除草剤	機械除草	除草剤	機械除草
1作目大豆	播種後土壌処理剤散布	-	イネ科雑草の発生が多い場合は茎葉処理剤散布	中耕・培土2～3回
1作目小麦	-	播種の5～7日前に中耕	麦2～3葉期に茎葉兼土壌処理剤散布	除草剤散布の処理適期を逃した時は中耕
	-	-	越冬後茎葉処理剤散布	発生量が多い場合は中耕1回
2作目大豆	-	播種の5～7日前に中耕	イネ科雑草(前作こぼれ麦含む)発生が多い場合は茎葉処理剤散布	中耕・培土2～3回

網掛け部分は立毛間栽培特有の作業